

回答書

2022-2024年度課題別研修「経済成長とディーセントワーク実現に向けた海外就労者の送出国後のキャリア開発支援に係る労働政策」研修委託業務 (企画競争)

(公告/公示日：2022年11月30日/調達管理番号：22c00762000000)に係る質問について、以下のとおり回答いたします。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 6	9. プロポーザル・見積書の提出等 (3) 提出方法 電子メール(※)、郵送等又は持参	電子メールで提出する際にプロポーザル及び見積書へのパスワードの設定について言及がありませんが、パスワードは設定不要という理解でよろしいでしょうか。また、他の課題別研修では提出時のメールタイトルが指定されることがありますが、本案件ではプロポーザルや見積書の提出にあたり、メールタイトルの指定はありますか。	プロポーザル及び見積書の提出について、セキュリティの強化のため、メールでの提出の際に提出データにパスワードを設定のうえメール送信し、別メールでパスワードをお知らせください。メールタイトルについては、本調達件名を記載してください。また、20メガバイトを超える添付ファイルになる場合はメール添付ではなくGIGAPOD経由で提出いただきますので、その旨ご連絡ください。
2	P. 6	9. プロポーザル・見積書の提出等 (4) 提出書類	「プロポーザル(提出部数：正1部、写4部)」とありますが、メールで提出する場合は「写4部」は不要と考えてよろしいでしょうか。	メールでの提出の場合は「写4部」は不要です。
3	P. 22	1. プロポーザルに記載すべき事項及び評価項目 ・応募機関の経験・能力	「応募機関の経験・能力」のページ数の分量として、(1)類似業務の経験、(2)業務実施上の支援体制等を合わせて「2ページ程度」とありますが、「程度」の超過許容目安があればご提示ください。	あくまで「程度」ですので明確には規定しておりませんが、2割超までを目安としてください。
4	P. 14	6. 研修構成・内容 研修終了後の事後活動：	「アクションプランで提案した課題改善のための計画について、研修員が参加組織において議論し、その結果を踏まえて同計画を実行する」とありますが、参加組織内での協議と計画の実行については、研修員帰国後の活動になり、フォローアップ活動が生じると理解しています。これについて、 ①事後のフォローアップ活動を行う時期はいつ頃を想定しておられますか(帰国から3ヶ月、など) ②事後のフォローアップ活動で求められる成果物がP. 20(2)業務提出物に含まれておりませんが、どのような成果物を想定しておられますか ③事後のフォローアップ活動に係る受託機関や外部講師の講師謝金は計上できますか。計上できる場合、何日程度をかける業務であると想定しておられますか	フォローアップ活動については研修員自身が所属先において行うことを想定しており、それを具体的にどのように行わせるのが効果的かについて企画書でご提案ください。 他方、本件契約の中ではその実施にかかる業務提出物、また必要経費については想定していません。
5	P. 23	第3プロポーザル作成要領 1. プロポーザルに記載すべき事項及び評価項目 「業務総括者の経験・能力」	JICA案件の提案においては業務総括者の経歴書(CV)を添付することがありますが、本件ではその記載がありません。業務総括者の経験・能力については、「1. プロポーザルに記載すべき事項及び評価項目「業務総括者の経験・能力」」に記載のある(1)と(2)2枚程度と(3)のみで評価されるのでしょうか。あるいは、業務総括者の経歴書を上記(1)(2)とは別に添付すべきなのでしょうか。	業務総括者の経験・能力について、経歴書としての提出は不要です。(1)業務総括者の専門的能力、(2)類似業務の経験、(3)語学力(英語)の記載内容のみで評価しますので、必要情報を適宜判断の上ご記載ください。
6	P. 24	第4 見積書作成及び支払について	課題別研修や青年研修では、教材翻訳や教材印刷などを受託機関が行う場合、業務内包化により事務管理者の業務日数を追加計上できる場合があるかと思えます。本案件の場合、これらの業務の内包化による業務日数の追加計上は可能ですか。可能である場合、具体的な追加計上日数をご教示ください。	本業務において、教材翻訳や印刷業務を内包化する想定とはしておりません。本調達案件では研修委託契約ガイドラインを参照のうえ見積書を作成いただくことを想定しており、事前準備期間においてもそちらを目安としてください。教材翻訳や印刷の内包化を行いたい場合は、契約交渉時にその旨ご提案下さい。人件費の追加計上について協議をします。
7				
8				